

環境経営レポート



令和6年度

令和5年10月1日～令和6年9月30日

株式会社 田代建設

(令和6年12月16日作成)



環境省
エコアクション21

認証番号0008590



目次

1. 環境経営方針	P 2
2. 組織の概要	P 3～5
3. 環境経営目標	P 6
4. 環境経営計画	P 7～8
5. 環境経営計画の取組結果とその評価	P 9
6. 環境経営計画に基づき実施した活動取組状況とその評価	P 10～14
7. 取組結果とその評価及び次年度の取組内容	P 15
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	P 16
9. 代表者による全体評価と見直し・指示	P 17



1. 環境経営方針

当社は世界遺産「富士山」の麓で地元を中心に総合建設業を営んでいます。これまで地域に根付いた活動を積極的に行ってまいりましたが、これからさらに企業としての社会的責任を果たすため、全社員一丸となって自然の宝庫であるこの地域の環境保全への意識を高め、資源循環社会の構築に寄与していきます。

- 1) 省資源・省エネルギー活動を推進し、CO2排出量の低減に努めます。
- 2) 廃棄物の削減とリサイクル活動の推進を行います。
- 3) 節水に努めます。
- 4) グリーン購入の推進を行います。
- 5) 地域に迷惑をかけない安心安全な工事を行います。
- 6) 環境関連の法規等を遵守し環境保護に努めます。

制定日 平成23年10月1日

改訂日 令和元年12月1日

株式会社 田代建設

代表取締役 田代和美



2. 組織の概要

- 1) 事業所名及び代表者氏名
 - ・ 株式会社 田代建設
 - ・ 代表取締役 田代和美
- 2) 所在地
 - ・ 〒410-1317 静岡県駿東郡小山町大胡田1077
- 3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
 - ・ 環境管理責任者 田代美希
 - ・ 担当者 田代美希
 - ・ 連絡先 TEL0550-76-0503 FAX0550-76-1960
 - ・ E-mail tashiro_kensetu@kud.biglobe.ne.jp
- 4) 事業内容
 - ・ 土木一式工事業
 - ・ とび・土工・コンクリート工事業
 - ・ ほ装工事業
 - ・ 水道施設工事業
 - ・ 建築一式工事業
 - ・ 管工事業

(特定建設業)

許可番号 静岡県知事許可(特-03)第6416号
 許可期間 令和4年1月8日～令和9年1月7日
 建設業の種類 土木、とび、ほ装、水道

(一般建設業)

許可番号 静岡県知事許可(般-03)第6416号
 許可期間 令和4年1月8日～令和9年1月7日
 建設業の種類 建築、管

(産業廃棄物収集運搬業) *請負工事に伴う建設産業廃棄物の収集運搬のみ

許可番号 2201190035
 許可年月日 令和3年6月28日
 電子マニフェスト加入者番号 1049883

- 5) 事業規模
 - ・ 会社設立 昭和40年12月
 - ・ 資本金 2000万円

活動規模	令和4年度	令和5年度	令和6年度
売上高(百万円)	585	460	366
従業員(人)	12	11	9
延べ床面積(㎡)	1,684	1,684	1,684

令和4年度:R3/10～R4/9,令和5年度:R4/10～R5/9,令和6年度:R5/10～R6/9,

- 6) 事業所所在地の位置付け
 - (1) 都市計画法での用途地域指定 市街化調整区域
 - (2) 静岡県生活環境の保全等に関する条例等での環境関連規制の地域指定
 - ・ 騒音規制 第2種区域
 - ・ 振動規制 第1種区域の2
 - ・ 悪臭規制
 - ・ 地下水採水規制
 - ・ 水質規制 小山町下水道(鮎沢川水系)
 - ・ 大気規制

7) 実施体制

*対象範囲: 全組織・全活動

代表者

代表取締役 田代 和美

- 経営における課題とチャンス の明確化
- 環境方針の策定
- 環境関連法規等の遵守の評価
- 環境管理責任者の任命
- 資源（人材・資金・技術）の用意

環境管理責任者

田代 美希

- 環境経営システムの構築・実施
- 環境目標・環境活動計画の策定
- 緊急事態の試行及び訓練の実施
- システムの実績を代表者に報告

事務局(EA21担当者)

田代 美希

- データの収集、文書の作成・管理
- システム運用上の事務管理
- 環境関連法規等の遵守状況取りまとめ
- 環境管理責任者の補佐業務
- 環境活動レポートの作成



経理部（事務所）

田代 有実加

- 環境活動計画の実施
- 実施状況の確認、記録

土木部（現場）

田代 靖和

- 環境活動計画の実施
- 実施状況の確認、記録

8)資格取得状況

1級土木施工管理技術者	3名
1級管工事施工管理技術者	1名
1級造園施工管理技術者	2名
1級舗装施工管理技術者	1名
2級土木施工管理技術者	4名
2級管工事施工管理技術者	2名
2級造園施工管理技術者	1名
2級舗装施工管理技術者	1名
2級建築施工管理技術者	2名
2級建設機械施工管理技術者	2名
2級建設業經理士	3名
下水道作業主任技術者	2名
給水装置作業主任者	2名
浄化槽設備士	2名

*今年度取得資格

1級土木施工管理技術者補	1名
--------------	----

3. 環境経営目標

環境目標	項目		単位基準値	単位	令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			令和5年度 (実績)		目標値		目標値		目標値	
二酸化炭素排出量の削減(前年比▲1%)	総量		168,012	kg-CO2	-1%	166,332	-2%	164,669	-3%	163,022
	電 気 使 用 量	事務所	11,616	kWh	-1%	11,500	-2%	11,385	-3%	11,271
	化 石 使 燃 用 料 量	ガソリン	5,868	L	-1%	5,809	-2%	5,751	-3%	5,694
		軽油	58,074	L		57,493		56,918		56,349
		灯油	60	L		59		59		58
産廃リサイクル率 98%	建設副産物(アスコン殻、コンクリート殻、木くず)のリサイクル率は100%達成できているので現状維持とする。混合廃棄物は再資源化率が50%なので更に分別に努める。									
一般廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量は排出量が少ないので現状維持とする。									
水使用量削減	水使用量削減は、使用量が少ないため節水活動を維持し活動のみとする。									
グリーン購入の推進	事務所内のグリーン購入はほぼ達成できているので現状維持とする。									
	現場において、建設機械を排ガス・低騒音規制製品へと順次更新を図っているので現状維持とする。									
地域に迷惑をかけない安心安全な工事	安心安全な工事については現状維持で活動のみとする。									
環境に配慮した工事	環境に配慮した工事については創意工夫の提案を増やす。									

排出係数:0.376kg-CO2/kJ係数:2022年度)

4. 環境経営計画

二酸化炭素排出量の削減														取組 状況	
購入電気量の削減			10	11	12	R6/1	2	3	4	5	6	7	8		9
事務所	不在時 休憩時 昼休みの消灯	全員												○	
	節電標語の掲示	事務所												○	
	エアコンの設定温度 冷房：28度 暖房：22度	担当											○		
化石燃料の削減			10	11	12	R6/1	2	3	4	5	6	7	8	9	
事務所 & 現場	エコドライブの推進	全員												○	
	《車両・重機》 アイドリングス トップの励行													○	
	過積載の禁止													○	
	エコドライブ推進 標語の掲示	担当												○	
廃棄物排出量の削減			10	11	12	R6/1	2	3	4	5	6	7	8	9	
事務所	コピー済み用紙の メモ用紙への転用	全員												○	
	リサイクルボックス の設置	担当												○	
	パソコンのプレ ビューチェックによ る印刷ミスの防止	全員												○	
現場	混合廃棄物から資源 物を再分別し、資源 化率の向上	全員												△	
	資材、廃棄物等、種 類毎の置場の区分と 表示	担当												○	
	資材の整理整頓の徹 底・直置き禁止	全員												○	
	型枠材は再使用を 考慮し、真物をむ やみに切断しない													○	

取組状況記載説明 ○：取り組んでいる、△：さらなる取り組みが必要、×：取り組んでいない

水使用量の削減			10	11	12	R6/1	2	3	4	5	6	7	8	9	
事務所	こまめに蛇口を閉める	全員 担当													○
	節水標語の掲示														○
グリーン購入の推進			10	11	12	R6/1	2	3	4	5	6	7	8	9	
事務所	事務用品のグリーン購入率50%の確保	担当													○
現場	建設機械の排ガス・低騒音規制製品への更新	担当													○
安全安心な工事の推進			10	11	12	R6/1	2	3	4	5	6	7	8	9	
現場	安全安心教育実施	全員													○
	創意工夫の提案														○
	工事中の安全安心の確保														○
環境に配慮した工事の推進			10	11	12	R6/1	2	3	4	5	6	7	8	9	
現場	工事に伴う騒音・振動防止の推進	全員													○
	環境配慮型の建設機械の使用														○

取組状況記載説明 ○:取り組んでいる、△:さらなる取り組みが必要、×:取り組んでいない

現場における△は整理整頓を更に徹底し、混合廃棄物のリサイクル率の向上に努めたい。

5. 環境経営目標の実績とその評価

環境目標	項目		単位	単位基準値	令和6年度		令和6年度	達成状況
				令和5年度 (実績)	目標値		実績	
二酸化炭素排出量の削減(前年比▲1%)	総量		kg-CO2	168,012	-1%	166,332	133,521	○
	電気 使用量	事務所	kWh	11,616	-1%	11,500	12,557	×
	化石 燃料 使用量	ガソリン	L	5,868	-1%	5,809	5,550	○
		軽油	L	58,074		57,493	44,862	○
		灯油	L	60	-1%	59	50	○
産廃リサイクル率 98%	産廃リサイクル率は99.9%で、目標は達成できた。混合廃棄物は更に分別を徹底したい。							○
一般廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量は253kgと現状維持できた。							○
水使用量削減	水使用量は、62m3と節水活動を行っている結果現状維持できた。							○
グリーン購入の推進	事務用品はグリーンマークの付いたものを購入した。							○
	現場において、環境に配慮した重機を1台購入した。また、草刈り機を順次電動の物に買い替えるようにした。							○
地域に迷惑をかけない 安心安全な工事	活動の結果、苦情等はなかった。また、地域貢献活動に参加し道路の安全を守る活動を行った。工事において表彰を受けた。							○
環境に配慮した工事	重機等環境配慮型のものを使用し、施工計画の段階で創意工夫に努めた。							○

排出係数:0.376kg-CO2/kWh (調整後排出係数:2022年度)

【評価】目標未達成項目と是正処置

事務所において冬季エアコン使用が増え電気使用量が増加してしまったが、太陽光発電量が電気使用量を大幅に上回り、環境に配慮した活動は行うことが出来ていると思われる。これからも節電の啓発を更に促していきたい。

【次年度目標】 変更なし

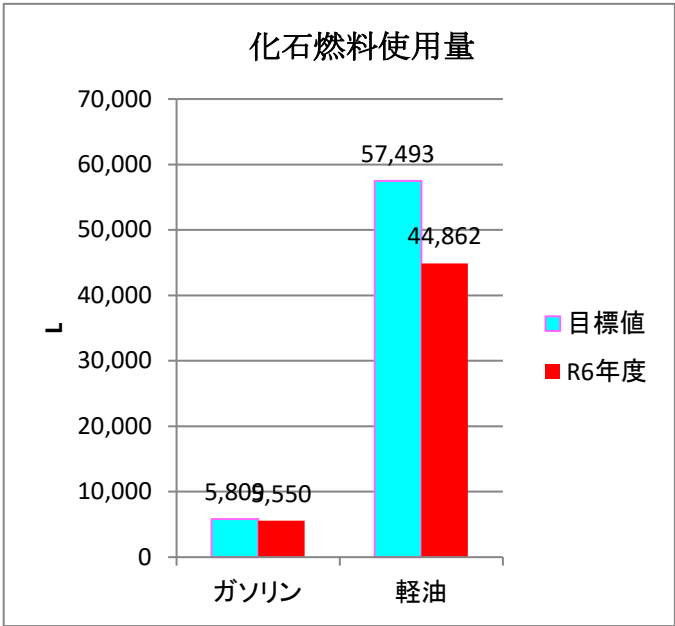
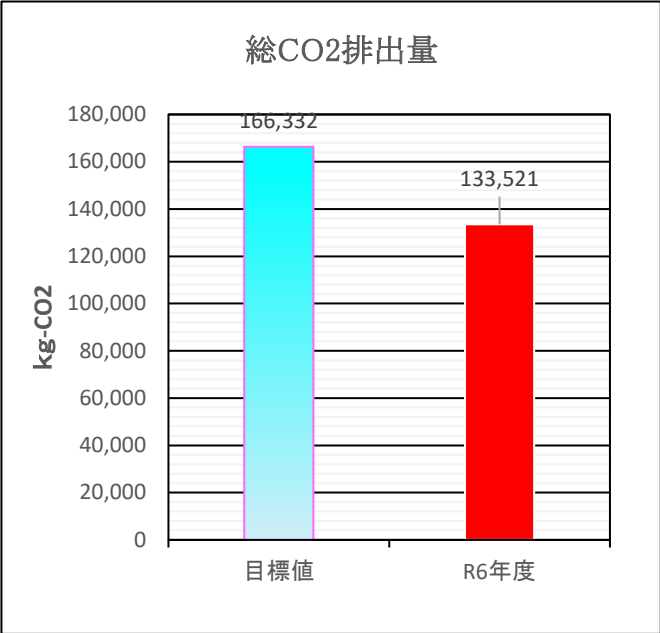
6. 環境経営計画に基づき実施した活動取組状況とその評価

二酸化炭素排出量の削減



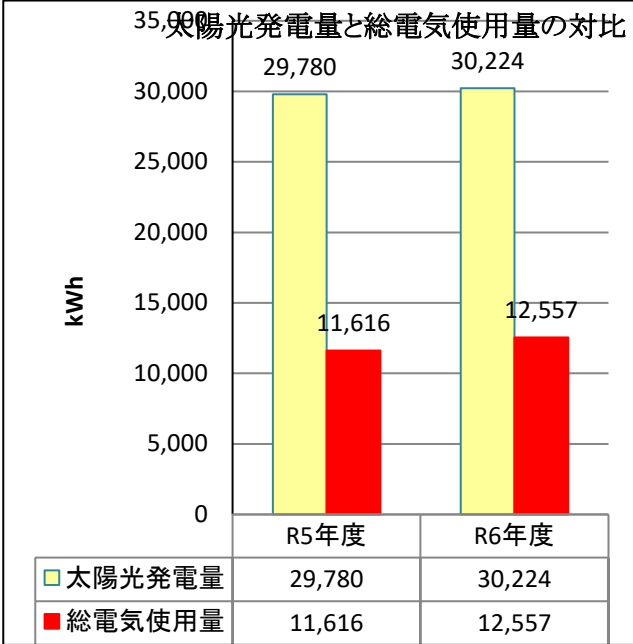
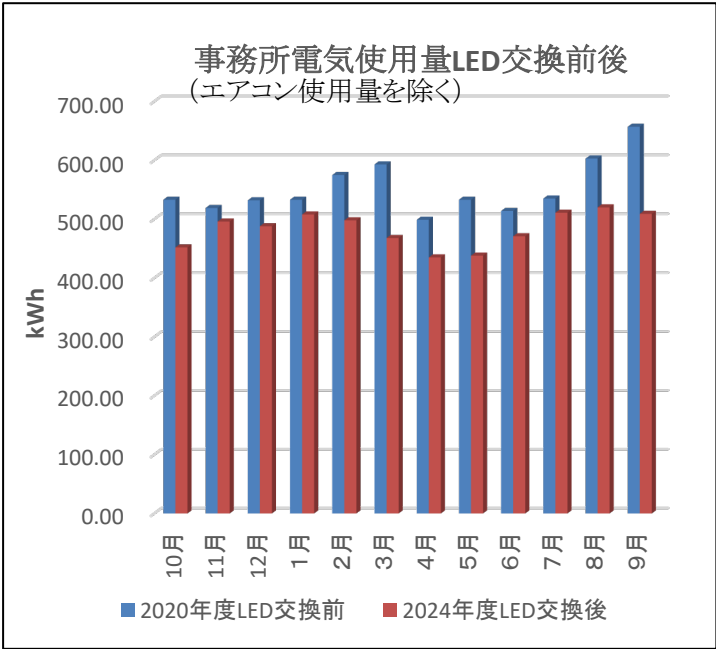
【全体】

【化石燃料使用量】



*会社全体の二酸化炭素排出量は目標を達成できた。次年度も更に気を引き締めて活動していきたい。

【電気使用量】



- * 事務所では冬季エアコン使用量が増え電気使用量が増えてしまったが、全体として電灯をLEDに交換した効果が表れた。
- * 太陽光発電量が総電気使用量を大幅に上回り、エコアクションの成果がよく表れている。

二酸化炭素排出量の削減



【化石燃料使用量】

- * 朝礼等でエコ運転を社員全員に啓発した。
- * 各車両・重機にアイドリングストップのシールを貼り注意喚起を促した。
- * 各車両・重機及び機械等を環境に配慮したものを購入、使用している。



- ・ 草刈り機を順次電動の物に替えた。



- ・ 重機を燃費の良いの物に替えた。



廃棄物の削減とリサイクル活動の推進



【事務所部門部門】



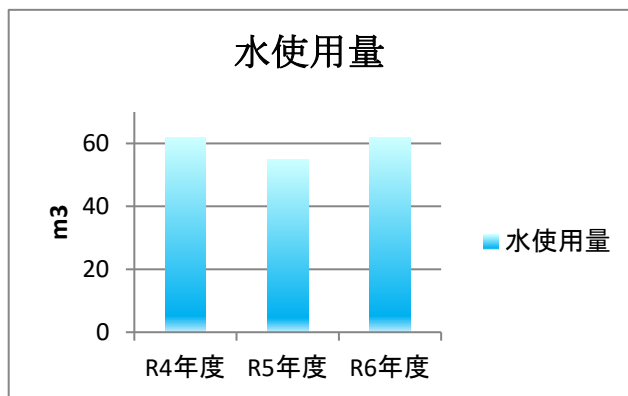
- ・事務所部門では印刷前のプレビューチェックをしてミスプリントを少なくし使用済みやミスプリントの裏紙を使用した。
- ・地域のリサイクル活動に参加し廃棄物の減量化を図ることが出来た。

【現場部門】



- ・現場部門では廃棄物の分別を徹底した。
- ・建設副産物についてはマニフェストの管理を徹底し100%リサイクルできた。
- ・マニフェスト管理は100%電子化し管理の軽減化を図った。

水使用量削減



- ・水使用箇所に節水の注意喚起を促した結果、水使用量は現状維持できた。

グリーン購入



【事務所部門】＊化石燃料使用の機械を順次電動の物に替えた。



【現場部門】＊環境に配慮した重機を購入した。



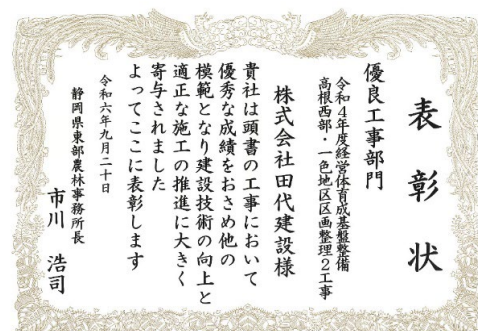
地域に迷惑をかけない安心安全な工事



- ＊ KY活動や現場の3S活動の結果苦情等はなかった。
- ＊ 地域貢献活動に参加しカーブミラーの清掃及びボルトの緩みや支柱の腐食などを点検し、道路の安全を守る活動を行った。



- ＊ 工事において優良表彰を受けた。



- ＊ 社員教育の推進 今年度取得資格 1級土木施工管理技術者補 1名

環境に配慮した工事



* 車両及び重機、機械等は環境配慮型の物を使用し、環境に配慮した工事に努めた。



* 産業廃棄物として処分する伐採木等をチップソーで粉砕することを提案し、産業廃棄物の減量化に努めた。粉砕した竹チップは土壌改良材及び雑草防止材として使用し、食味向上や雑草防止等の効果を得ることが出来た。

竹をチップにする作業



土壌改良材として使用



雑草防止材として使用



7. 取組結果とその評価及び次年度の取組内容

	取組結果とその評価	次年度の取組内容
二酸化炭素排出量削減	重機等のアイドリングストップを徹底し低燃費の重機等を使用することによって、二酸化炭素排出量の減少に努めた結果、目標を達成する事が出来た。	現状を維持すると共に、建設現場の軽油使用によるCO2排出量が全体の86.7%を占めているため、重機のCO2排出量削減の意識を更に高めるよう啓発に努めていきたい。
廃棄物排出量削減	事務所部門 事務所に於いて廃棄物の削減に努めた結果一般廃棄物量は253kgと概ね目標は達成できた。	まだミスプリントの減量が望めるので、プレビューチェックを更に徹底したい。
	混合廃棄物 各現場から出た産業廃棄物は分別しているが、リサイクル率は50%であるため更に啓発活動を行っていきたい。	次年度は更に分別の徹底を図りたい。
	建設副産物(アスコン殻・コンクリート殻・木くず) マニフェストは100%電子化して管理の徹底を図り、建設副産物(アスコン殻、コンクリート殻、木くず)のリサイクル率は100%を維持できた。	産業副産物のリサイクル率は100%現状維持をしていきたい。
水使用量削減	排水量は、目標値を達成できた。	引き続き節水に努めたい。
グリーン購入の推進	事務所部門ではグリーン商品を優先的に購入した。	今後もグリーン商品を優先的に購入するようにしたい。
	現場では環境配慮型重機を購入した。また機械等も順次電動に替えることができた。	引き続き順次環境配慮型の機械、重機、車両に更新していきたい。
地域に迷惑をかけない 安心安全な工事	現場の3S活動やKY活動を展開した結果苦情等もなかった。また、地域貢献活動に積極的に参加した。	今後もこの活動を継続していきたい。
環境に配慮した工事	工事において環境配慮型の重機・機械等を使用するようにした。また施工計画の段階で創意工夫の提案として産業廃棄物として処分する伐採木等をチップソーで粉碎し、土壌改良材、雑草防止材として使用する事を提案し産業廃棄物の減量化を実施し環境配慮に努めた。	今後も環境に配慮した活動を継続していきたい。

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

1)環境関連法規等の遵守状況 評価者：田代和美 評価日：令和6年12月2日

法規・条例・規制	適用内容または規制基準値	備考	評価状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物収集・運搬及び処分業者との委託契約	契約の締結	○
	マニフェストの交付義務・記載義務及び虚偽記載の禁止	マニフェストの適正な作成	○
	マニフェストの管理	承認の確認	○
	マニフェストの期間内の承認の確認	90日以内または180日以内	○
	マニフェストの保管	5年間	○
	マニフェストの年間集計と知事への報告 ・多量排出事業者としての報告を行う 減量化計画・実施状況報告	6月30日までに提出	○
	投棄禁止	不法投棄を行わない	○
	廃棄物の悪臭・飛散防止	車両荷台をシート等で覆う	○
	保管場所への掲示	60cm×60cm以上掲示	○
建設リサイクル法	建設副産物のリサイクル	工事計画書・実施報告	○
小山町廃棄物処理に関する条例	一般廃棄物の分別排出		○
騒音・振動規制法(土木工事)	指定地域での特定建設業の届出	小山町への提出及び作業日・規制時間の厳守	—
家電リサイクル法	指定家電の適正処分	指定業者に処分依頼	○
PCリサイクル法	OA機器の適正処分	指定業者に処分依頼	○
自転車リサイクル法	引取業者への引き渡し	リサイクル料金の支払い	—
環境基本法	一般的な自主努力		○
地球温暖化 対策推進法	温室効果ガス抑制措置	自治体施策へ協力	○
循環型社会 形成推進基本法	3Rへの努力	廃棄物等の内、有効なものの循環的な利用を推進	○
グリーン購入法	環境物品の購入及び工事材料提案	事業者の一般的責務・工事計画書	○
浄化槽法	浄化槽使用開始届け	現事業所移転時	○
	保守点検の実施	年4回の点検	○
	法定検査の実施	年1回の点検	○
フロン排出抑制法	3ヶ月ごとの簡易点検の実施 (業務用エアコン6台・重機エアコン11台)	簡易点検の実施	○
建設業法	建設業許可と更新及び技術士の登録	登録と5年ごとの更新及び資格者登録	○
道路法・河川法 建築基準法 上下水道法	申請書の届出・工事基準の遵守		○
			○
			○

2) 訴訟などの有無
関係機関からの指摘、利害関係者、近隣住民からの訴訟等は、過去3年間ありませんでした。

9.代表者による全体評価と見直しの結果

作成者： 田代和美

作成日： 令和6年12月2日

今期の取組状況確認	項目		確認	：必要に応じて評価コメント記載
	1	エコアクション21文書	☒	：
	2	環境目標及び目標達成状況	☒	： 全体の二酸化炭素排出量の環境目標値は達成することが出来た。二酸化炭素削減という意識を更に持ち啓発を続けたい。
	3	環境活動計画 及び取り組み実施状況	☒	：
	4	環境関連法規要求一覧 及び遵守状況	☒	：
	5	外部コミュニケーション・対応記録	☒	：
	6	問題点の是正・予防措置の実施状況	☒	：
	7	取引先、業界、関係行政機関、 その他の外部動向	☒	：
	8	その他（ ）	☒	：

2. 全体の評価と見直し結果

今期全体の評価と見直し指示	コメント全体評価		会社全体として環境保全の意識は高まっていると思われる。次年度は更に二酸化炭素削減に対する啓発をしていきたい。		
	見直し指示内容	項目	見直しの必要性		「有」の場合の指示内容等
		1 環境方針	有	☐	
		2 環境目標・計画	有	☐	
		3 環境活動計画・取組項目	有	☐	
		4 環境に関する組織	有	☐	
		5 その他のシステム要素	有	☐	
		6 その他（外部への対応等）	有	☐	